

ここ のえ まち
九重町の魅力をひもとく
移住定住ガイドブック

ここには本物の色が、音が、味が残っています。
絆で結びついた豊かな心が残っています。
日常にあふれるこの感動をあなたに。



九重町ってこんなところ

大分県の南西部に位置し、阿蘇くじゅう国立公園などに一部指定された自然豊かな町です。雄大な自然環境や地熱資源、温泉にも恵まれた町で風光明媚な地としても有名です。

人口：8,192人
 (男性 3,925人、女性 4,267人)
 世帯数：3,833世帯
 面積：271.37km²
 病院数：一般診療 6施設
 歯科診療所 3施設
 薬局 2施設
 スーパー：3施設
 コンビニ：2施設
 JR駅：4駅(恵良、引治、豊後中村、野矢)
 こども園：2園(みつばこども園、飯田こども園)
 学校：7校(小学校6校、中学校1校)

※人口、世帯数は令和7年3月31日現在

都市部(福岡、大分)からのアクセス

九重町は福岡県から車で1時間半、JRでも2時間程度という立地。さらに高速のICもあり、高速バスの利用も可。町内はコミュニティバスや民間バス路線が運行しており、地域住民の移動手段として利用されています。

車(高速道路)	福岡市まで:約1時間30分 大分市まで:約1時間
高速バス	福岡市まで:約1時間30分 大分市まで:約1時間
JR(特急)	福岡市まで:約2時間 大分市まで:約1時間10分

九重町の気温

年平均気温
14.1℃

標高約1,000mに位置する飯田地区は高原地域で避暑地として多くの観光客が訪れます。町内全域で冬は気温が低く、積雪や路面凍結も発生します。

東飯田エリア

(人口 2,199人)

- 紫陽花の名所であり、白猪が奉納されている宝八幡宮や景勝地としても知られる龍門の滝など名所が点在。
- 商業施設や郡内唯一の高校のある玖珠町に隣接しJR利用だと1駅で行くことが可能。
- 小学校1校



南山田エリア

(人口 2,467人)

- 熊本県との県境にあり、宝泉寺温泉や壁湯温泉などもあり、温泉地である。
- ブルーベリーやトマトなど農業も盛んな地域。
- 小学校2校、こども園1園



飯田エリア

(人口 1,592人)

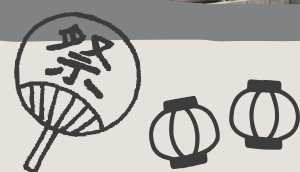
- 国立公園に一部指定された、自然豊かで多くの観光スポットが点在する地域。
- くじゅう連山の登山口やスキー場がありアウトドアが好きな方にはもってこいの地域。また温泉が豊富なのも魅力。
- 多くの牧場や畜産農業が盛んな地域である。
- 小学校1校、こども園1園



野上エリア

(人口 1,934人)

- 特急が停車する「豊後中村駅」や九重ICがあり交通のハブ地域。
- 東に行くと観光地である「由布市」に隣接しており、「別府市」や「大分市」まで1時間程度で行くことが可能。
- 小学校2校、中学校1校





きっと見つかる あなたに合った移住のかたち

step

1

“九重町を知る”

九重町はどんな地域で、どんな暮らしができるかをインターネットやパンフレットなどを元に幅広く情報を集めましょう。気になる事や、疑問点など役場の移住担当までご連絡ください。



九重町移住定住情報
【ココクラ】



九重町
公式ホームページ



step

2

“九重町に訪れて体験する”

実際に九重町に来て「九重暮らし」を体験してみましょう。観光やグルメだけでなく、気候や生活環境、人柄など現地でないと伝わらないこともたくさんあります。特に九重町は冬に積雪や路面凍結などが発生することがしばしばあります。憧れや思いだけで移住してしまうと失敗のもとです。東京や大阪、福岡などで開催する移住相談会「おおいた暮らし塾」に九重町の担当者も参加する場合がありますので、ぜひご参加ください。

step

3

“仕事や住まいを探す”

九重町で暮らすイメージが出来たら仕事や住居を探しましょう。就職する場合はハローワーク等の利用を、起業や就農を考えている場合は役場の担当者に相談しましょう。職種によっては研修や補助制度もあります。住居は空き家バンクや不動産会社などから物件を探しましょう。空き家バンクを利用して住居が見つかった場合、リフォームなど各種補助制度の利用ができます。

step

4

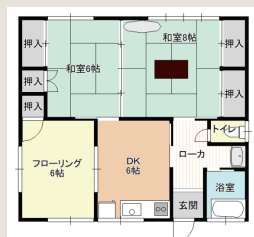
“いよいよ九重暮らし”

引越などが完了したら各種手続きが必要です。転入届は14日以内に提出しましょう。ゴミの出し方などお困りの際は窓口でご相談ください。また、移住後も安心して生活できるよう、移住者交流会などを開催していきます。積極的に参加して九重暮らしをお楽しみください。



移住体験住宅

移住を考えている方を対象に、最長30日間のお試し生活ができる施設を準備しています。移住に向けて「地域の環境を知りたい」「仕事や家を探したい」というときは予約状況をご確認のうえお申込みください。



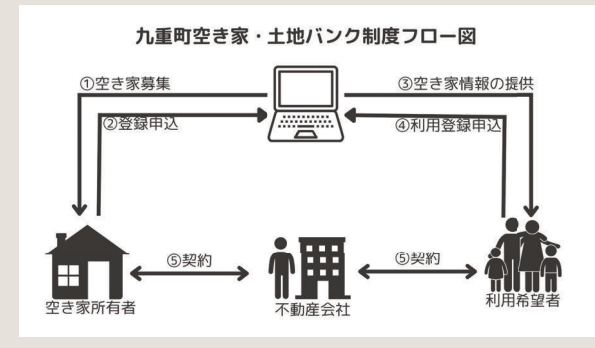
住 所：大分県玖珠郡九重町大字田野1278-1
間 取 り：3DK（駐車場2台、ペット不可）
申込方法：10日前までの申込
利 用 料：1日1,000円
※対象者は移住を考えている方のみで、一時的な仕事や観光等での利用はお断りさせていただきます。

利用者の声

- 家財道具のほか、インターネットがひかれていて無線LAN環境ができていたので便利です。
- 近隣の温泉に行き地元の方とふれあいができました。
- 冬の寒さが体験できました。自然が多く、ゆっくりとした生活ができる場所だと思いました。
- 30分あればいろんなところに行けますが夜の夕食が少なくて困った。
- 温泉と自然環境を体験でき、さらに住みたい欲が増しました。

空き家バンク制度

この制度は、定住促進を目的とし、空き家の賃貸・売買を希望する方（所有者）からの情報を空き家の利用を希望する方（入居希望者）に紹介するシステム。まず空き家バンク制度にご登録いただき、その後に物件の詳細をご案内いたします。物件を契約する際は宅地建物取引業者の仲介が必要です。空き家バンクで物件が賃貸・売買が決まった際に利用できる補助制度があります。



九重町の Q & A

Q1 九重町の気候は？

A1 九重町は標高400m～1200mまでの間に集落が点在しています。特に飯田地区は1000mに近い標高のため、比較的夏は涼しく、冬は寒い地域です。

Q2 病院はありますか？

A1 一般診療や歯科などは各地区にあります。総合病院や小児科など大きな病院は大分市や日田市まで行く必要があります。

Q3 車が無いと不便ですか？

A1 町内にはJRや高速バス、コミュニティバスなどの公共交通機関はありますが、車がないと不便な地域です。また、冬季は積雪するため、スタッドレスタイヤの装着が必要となります。

Q4 インターネット環境は？

A1 町内全域にケーブルインターネットが普及しています。どの地域でも不便なくご利用いただけます。

Q5 学校の環境は？

A1 こども園が2園、小学校が6校、中学校は1校あり、中学校は各地区からスクールバスで送迎を行っています。

住宅(空き家)に関する支援

●家財処分補助

空き家の所有者等が賃貸や売買を行うために家財の不要物を処分する費用に対する補助。

補助率:10分の10以内(1,000円未満切捨)

限度額:10万円

●利用者改修補助

空き家に入居しようとする者が必要な修繕や増築を行う費用に対する補助。(工事費30万円以上)※売買のみ

補助率:3分の2以内(1,000円未満切捨)

限度額:100万円又は200万円(転入先によって異なります)

●移住応援給付金

大分県外からの引越費用に対する補助。

補助率:10分の10以内(1,000円未満切捨)

限度額:20万円(子育て世帯や若年者世帯は加算あり)



●移住支援金

県外から転入し、理由が転勤、出向等職務上のもの等でない自己の意思による方で一定の要件を満たした世帯に支援金を支給します。

限度額:単身 60万円、同居 100万円(子育て世帯は加算あり)

仕事に関する支援



●九重町若者地元就職支援事業

若者の地元就労及び移住者の定住促進を図るため、就職支援金を交付。

助成金額:職種により決定(10万円、30万円、50万円)

●九重町起業支援事業(町内で起業する方が対象)

町内における産業の担い手確保のため、起業のために必要な経費を補助。

補助率:補助対象経費の1/2以内

限度額:100万円

●奨学金返還支援事業(町内に在住し県内で働く方が対象)

職業を問わず町内に居住し、県内で働く方に奨学金の返還支援を行います。

●ファーマーズスクール事業

先輩農家さんのもとで地域の特産品である「夏秋トマト」「椎茸」「梨」を対象として、独立に向けて必要な栽培技術や農業知識を身に付けることのできる研修制度です。(期間:1年以上2年以内)



子育てに関する支援

●子ども医療費助成事業(0歳～高校生が対象)

高校生までの児童の入院・通院にかかる医療費を全額助成しています。家庭での負担は0円です。

●出産祝金

出産した児童一人につき、一律3万円の給付があります。

●入学・新生活応援支援金(中学卒業者が対象)

高校入学、新生活を迎える保護者に5万円の給付があります。

●子育て関連用品購入助成金(0歳～2歳が対象)

子育てに必要な用品の購入費用の1/2を助成します。(1人につき最大5万円)

●幼児教育・保育の無償化(こども園利用者が対象)

こども園を利用する3～5歳までの子ども及び第2子以降の0～2歳児の保育料を無償化。



●放課後児童クラブ

町内5カ所で運営し、主に共働き家庭等の小学生に放課後の遊びや生活の場を提供して、健全な育成を支援します。

●ここのえファミリーサポートセンター

保護者の病気や冠婚葬祭などの外出時、また保育施設の時間外や学校の放課後など一時的に預かってほしいという保育のニーズに合わせて助け合う有償のサービスです。

●ここのえ子育て交流センター

子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場所です。親子のスキンシップ・保護者同士の交流や居場所づくりを目的とした行事を行っています。

●出産祝い品

県産木材を使用し町内の木工作家が作成した木製食器(5点)にお子さんの名前を入れた品を贈呈します。

※この他にも支援制度があります。九重町ホームページをご覧ください。
※各種補助金等についての詳細は、事前にお問い合わせください。



【お問い合わせ先】

九重町役場 観光・地域振興課

TEL 0973-76-3150

FAX 0973-76-2247

Mail kokonoehome@town.kokonoe.lg.jp



九重町
公式Instagram



九重町観光情報
公式Instagram



九重町移住定住情報
【ココクラ】

